2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4838　　ＵＲＬ　https://sssk-hd.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）　林　吉人
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）　酒井　真也　　ＴＥＬ　03-6478-2394

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	12,920	8.5	1,388	3.7	1,415	2.5	867	8.3
2026年３月期中間期	11,904	12.5	1,339	130.4	1,381	137.2	800	147.2

（注）包括利益 2027年３月期中間期　　987百万円（18.8%）　2026年３月期中間期　　830百万円（131.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	53.45	―
2026年３月期中間期	48.79	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	19,130	9,419	48.7
2026年３月期	18,416	8,938	48.0

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　9,314百万円　　2026年３月期　　8,835百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	25.00	25.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期（予想）			―	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	0.6	2,000	2.2	2,050	2.3	1,220	1.8	75.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

新規　－社　（社名）－

除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	17,029,205株	2026年３月期	17,029,205株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	837,071株	2026年３月期	740,848株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	16,226,077株	2026年３月期中間期	16,413,492株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（収益認識に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、賃上げの継続や設備投資の拡大を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の関税政策に起因する世界的な通商摩擦の激化や、それに伴う円相場の不安定な推移、中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりや原油価格の変動に伴うエネルギーコストの上昇など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する音楽・エンタテインメント業界においては、引き続き活況を呈しております。前述のような世界情勢による直接的な影響は軽微にとどまっているものの、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も強まっており、価格帯や体験価値に応じたコンテンツ・サービス設計がより一層求められております。加えて、AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、コンテンツ制作や流通・消費の在り方も大きく変化しており、従来型のビジネスモデルの変革と多様化するファンのニーズへの柔軟な対応が、重要な経営課題となっております。このように多様化し変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年４月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした新たな企業体制を構築してまいりました。グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」の２年目となる当連結会計年度においては、引き続きコンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて持続的な成長を目指しております。

当中間連結会計期間においては、株式会社スペースシャワーネットワークのライブ事業において、４月に開催した国内最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」で約４万５千人、８月に開催した「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」では約７万８千人を動員いたしました。インフィニア株式会社のエンタテインメントカフェ事業においては、2025年５月に開業した「あっとほぉーむカフェ名古屋大須本店」が順調に黒字化し、エンタテインメントカフェ事業全体の来店者数は23.8万人（前年同期比2.7%増）と堅調に推移しました。株式会社SKIYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan Pro」「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が197.5万人（同35.9%増）と好調に推移しました。

これらの取り組みの結果、売上高は12,920,014千円と前年同期比1,015,321千円増（同8.5%増）と増収となりました。また、各段階利益につきましては、営業利益は1,388,723千円と前年同期比49,468千円増（同3.7%増）、経常利益は1,415,687千円と前年同期比34,496千円増（同2.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は867,230千円と前年同期比66,491千円増（同8.3%増）、EBITDAは1,698,906千円と前年同期比57,212千円増（同3.5%増）となりました。なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

①コンテンツセグメント

エンタテインメントカフェ事業においては、好調な稼働率に加え、2025年５月に開業した「あっとほぉーむカフェ名古屋大須本店」の大幅増益及び黒字化により、前年同期比で増収増益となりました。ライブ事業においては、５周年を記念した「POP YOURS」が初の３日間開催及び会場拡大により過去最高の動員数を記録した一方で、規模拡大に伴うイベント原価の増加による影響や、８月に開催した「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」が過去最高の動員数を記録した前年度の動員数を下回ったことなどが影響し、減収減益となりました。

この結果、売上高は6,418,413千円と前年同期比65,426千円減（同1.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は903,445千円と前年同期比159,025千円減（同15.0%減）、セグメントEBITDAは1,054,430千円と前年同期比149,371千円減（同12.4%減）となりました。

②ソリューションセグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上及び著作隣接権売上が好調に推移し、プラットフォーム事業においては、ストック収益であるファンクラブ売上及びフロー収益であるMD・イベント売上が堅調に増加しました。クリエイティブソリューション事業においても、大型受注案件を獲得するなど昨年より大幅に収益を伸ばし、増収増益となりました。

この結果、売上高は6,501,600千円と前年同期比1,080,748千円増（同19.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は484,051千円と前年同期比208,061千円増（同75.4%増）、セグメントEBITDAは643,250千円と前年同期比206,151千円増（同47.2%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が326,082千円、顧客関連資産が72,500千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が712,627千円、仕掛品が87,237千円、その他(流動資産)が260,363千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ713,682千円増加し、19,130,312千円となりました。

負債は、未払金が138,431千円、賞与引当金が240,162千円、預り金が97,201千円減少した一方で、買掛金が560,280千円、その他(流動負債)が134,377千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ232,823千円増加し、9,710,681千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより自己株式が75,899千円増加した一方で、利益剰余金が460,021千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ480,859千円増加し、9,419,631千円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月14日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,072,994	6,746,911
受取手形及び売掛金	3,354,602	4,067,229
商品	90,642	92,568
仕掛品	154,530	241,767
貯蔵品	7,340	6,870
その他	506,827	767,190
貸倒引当金	△43,369	△46,056
流動資産合計	11,143,567	11,876,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,447,446	1,469,963
機械装置及び運搬具	10,287	10,287
工具、器具及び備品	733,304	779,178
土地	52,640	52,640
リース資産	19,767	19,767
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,084,325	△1,183,596
有形固定資産合計	1,179,120	1,148,239
無形固定資産		
のれん	1,124,092	1,077,255
顧客関連資産	1,740,000	1,667,500
商標権	59,572	53,386
ソフトウエア	509,911	477,242
ソフトウエア仮勘定	20,482	960
その他	7,152	4,574
無形固定資産合計	3,461,212	3,280,919
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	262,287
敷金及び保証金	404,545	398,152
繰延税金資産	120,315	104,602
長期預金	2,000,000	2,000,000
その他	75,061	70,579
貸倒引当金	△10,952	△10,952
投資その他の資産合計	2,632,729	2,824,669
固定資産合計	7,273,062	7,253,828
資産合計	18,416,629	19,130,312

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,896	2,683,177
リース債務	2,882	2,560
未払金	640,948	502,516
未払法人税等	565,743	490,078
預り金	3,858,885	3,761,683
賞与引当金	363,580	123,418
役員賞与引当金	106,913	75,980
損害賠償損失引当金	21,400	21,400
その他	948,206	1,082,584
流動負債合計	8,631,456	8,743,401
固定負債		
リース債務	13,999	12,719
退職給付に係る負債	537,856	547,791
役員退職慰労引当金	41,552	40,502
繰延税金負債	198,360	305,181
その他	54,633	61,085
固定負債合計	846,401	967,279
負債合計	9,477,857	9,710,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,825,321	5,831,360
利益剰余金	3,285,299	3,745,321
自己株式	△374,986	△450,886
株主資本合計	8,835,635	9,225,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	88,294
その他の包括利益累計額合計	－	88,294
非支配株主持分	103,136	105,541
純資産合計	8,938,771	9,419,631
負債純資産合計	18,416,629	19,130,312

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	11,904,693	12,920,014
売上原価	8,189,944	8,963,137
売上総利益	3,714,748	3,956,877
販売費及び一般管理費	2,375,493	2,568,153
営業利益	1,339,254	1,388,723
営業外収益		
受取利息	4,540	18,919
受取配当金	1,811	1,407
為替差益	16,110	－
受取和解金	17,026	－
預託金返還益	－	5,000
雑収入	5,281	9,264
営業外収益合計	44,769	34,591
営業外費用		
支払利息	1,382	250
支払手数料	1,021	1,134
為替差損	－	6,214
雑損失	429	27
営業外費用合計	2,833	7,627
経常利益	1,381,190	1,415,687
特別利益		
固定資産売却益	15	－
投資有価証券売却益	6,000	66,648
特別利益合計	6,015	66,648
特別損失		
固定資産除却損	38	－
特別損失合計	38	－
税金等調整前中間純利益	1,387,167	1,482,336
法人税、住民税及び事業税	407,595	492,821
法人税等調整額	148,628	90,675
法人税等合計	556,224	583,496
中間純利益	830,943	898,839
非支配株主に帰属する中間純利益	30,204	31,609
親会社株主に帰属する中間純利益	800,739	867,230

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	830,943	898,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	88,294
その他の包括利益合計	－	88,294
中間包括利益	830,943	987,133
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	800,739	955,524
非支配株主に係る中間包括利益	30,204	31,609

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
ライブ売上	2,384,635	－	2,384,635	－	2,384,635
アーティスト売上	1,118,855	－	1,118,855	－	1,118,855
メディア売上	1,245,042	－	1,245,042	－	1,245,042
エンタテインメントカフェ売上	1,735,306	－	1,735,306	－	1,735,306
プラットフォーム売上	－	1,934,753	1,934,753	－	1,934,753
ディストリビューション売上	－	2,495,783	2,495,783	－	2,495,783
クリエイティブソリューション売上	－	990,315	990,315	－	990,315
顧客との契約から生じる収益	6,483,840	5,420,852	11,904,693	－	11,904,693
外部顧客への売上高	6,483,840	5,420,852	11,904,693	－	11,904,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	451,264	95,687	546,951	△546,951	－
計	6,935,104	5,516,539	12,451,644	△546,951	11,904,693
セグメント利益	1,062,471	275,989	1,338,460	793	1,339,254

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等793千円であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	1,062,471	275,989	1,338,460	793	1,339,254
減価償却費	141,330	114,272	255,602	－	255,602
のれんの償却額	－	46,837	46,837	－	46,837
セグメントEBITDA（注）４	1,203,801	437,099	1,640,900	793	1,641,694

４．各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
ライブ売上	2,301,455	－	2,301,455	－	2,301,455
アーティスト売上	1,124,388	－	1,124,388	－	1,124,388
メディア売上	1,048,057	－	1,048,057	－	1,048,057
エンタテインメントカフェ売上	1,944,512	－	1,944,512	－	1,944,512
プラットフォーム売上	－	2,207,569	2,207,569	－	2,207,569
ディストリビューション売上	－	2,834,128	2,834,128	－	2,834,128
クリエイティブソリューション売上	－	1,459,902	1,459,902	－	1,459,902
顧客との契約から生じる収益	6,418,413	6,501,600	12,920,014	－	12,920,014
外部顧客への売上高	6,418,413	6,501,600	12,920,014	－	12,920,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	474,861	75,826	550,687	△550,687	－
計	6,893,274	6,577,426	13,470,701	△550,687	12,920,014
セグメント利益	903,445	484,051	1,387,497	1,225	1,388,723

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等1,225千円であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	903,445	484,051	1,387,497	1,225	1,388,723
減価償却費	150,984	112,361	263,346	－	263,346
のれんの償却額	－	46,837	46,837	－	46,837
セグメントEBITDA（注）４	1,054,430	643,250	1,697,680	1,225	1,698,906

４．各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（収益分解区分の変更）

前連結会計年度より、従来開示しておりました「ライブ・コンテンツ売上」を、「ライブ売上」と「アーティスト売上」の２区分に分けて開示しております。

この変更に伴い、前中間連結会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報についても、変更後の収益分解区分により作成したものを記載しております。

（収益認識に関する注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。